

キャリア教育について

【キャリア教育とは】

「キャリア教育」＝「職業教育」だと勘違いをしている場合があります。もちろん職業教育は、キャリア教育に含まれます。しかし、同義ではありません。また、キャリア教育は「勤労観、職業観」のみを育てる教育でもありません。

人は、他者や社会とのかかわりの中で、職業人、家庭人、地域社会の一員等、様々な役割を担いながら生きています。これらの役割は、生涯という時間的な流れの中で変化しつつ積み重なり、つながっていくものです。また、このような役割の中には、所属する集団や組織から与えられたものや日常生活の中で特に意識せず習慣的に行っているものもありますが、人はこれらを含めた様々な役割の関係や価値を自ら判断し、取捨選択や創造を重ねながら取り組んでいます。人は、このような自分の役割を果たして活動すること、つまり「働くこと」を通して、人や社会にかかわることになり、そのかかわり方の違いが「自分らしい生き方」となっていくものです。このように、**人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく[連なりや積み重ね]**が、「キャリア」の意味するところです。

キャリア教育で育む「生きる力」 (◇人間関係形成・社会形成力 ◇自己理解力・自己管理能力 ◇課題対応能力 ◇キャリアプランニング能力等) ※今回は下記の3つを紹介します。

◇ 人間関係形成・社会形成能力

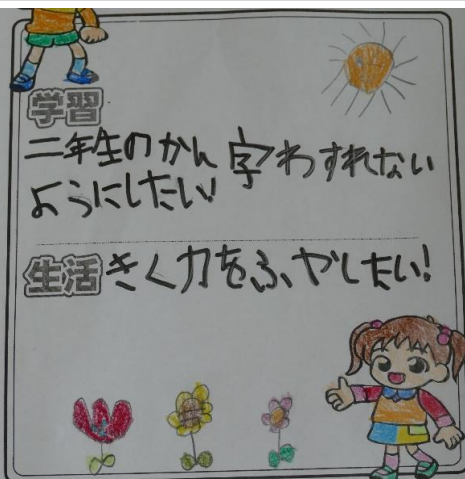
「人間関係形成・社会形成能力」は、多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力です。

この能力は、社会とのかかわりの中で生活し仕事をしていく上で、基礎となる能力です。特に、価値の多様化が進む現代社会においては、性別、年齢、個性、価値観等の多様な人材が活躍しており、様々な他者を認めつつ協働していく力が必要です。また、変化の激しい今日においては、既存の社会に参画し、適応しつつ、必要であれば自ら新たな社会を創造・構築していくことが必要です。さらに、人や社会とのかかわりは、自分に必要な知識や技能、能力、態度を気付かせてくれるものでもあり、自らを育成する上でも影響を与えるものです。

具体的な要素としては、例えば、**他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップ**等が挙げられます。



図工(2年生)：友達と協力して作品をつくる活動をとおして、人間関係形成の能力を育てています。



前期の目標(3年生)：目標を立てる活動をとおして、自己理解を深められるようにしています。

◇ 自己理解・自己管理能力

「自己理解・自己管理能力」は、自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力です。

この能力は、子どもや若者の自信や自己肯定感の低さが指摘される中、「やればできる」と考えて行動できる力です。また、変化の激しい社会にあって多様な他者との協力や協働が求められている中では、自らの思考や感情を律する力や自らを研さんする力がますます重要です。これらは、キャリア形成や人間関係形成における基盤となるものであり、とりわけ自己理解能力は、生涯にわたり多様なキャリアを形成する過程で常に深めていく必要があります。

具体的な要素としては、例えば、**自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動**等が挙げられます。

◇ キャリアプランニング能力

「キャリアプランニング能力」は、「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力です。

この能力は、社会人・職業人として生活していくために生涯にわたって必要となる能力です。

具体的な要素としては、例えば、**学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善等**が挙げられます。



花壇活動(全学年)：働くことの意義も考えるようにさせています。

新型コロナウイルス感染症について

(日本赤十字社ホームページより http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html)

新型コロナウイルスへの感染が拡大する中、感染への不安から不当な差別や感染した方への誹謗・中傷が国内や県内でも報告されています。

(実際に報告のあった事例)

- ・ 県外ナンバーの車に乗っているというだけで忌避・排除
- ・ 感染した人や家族、その施設や周辺地域への誹謗・中傷
- ・ PCR検査で陰性にも関わらず、その子どもの保育園登園拒否
- ・ 医療従事者や若年層をウイルス菌保有者と断定して差別

誰もがウイルスには感染したくありませんが、誰にでも感染は起こりうることです。新型コロナウイルス感染症に関連した誤った情報や不確かな情報に基づく不当な差別、いじめ等の人権侵害はあってはなりません。

不確かな情報に惑わされて人権侵害につながるということがないよう、公的機関が発表する正しい情報に基づいて、人権に配慮した適切な行動をお願いします。

ウイルスがもたらす

第1の“感染症”は 病気そのものです

このウイルスは、感染者との接触でうつることがわかっています。

感染すると、風邪症状や重症化して肺炎を引き起こすことがあります。

ウイルスがもたらす

第2の“感染症”は 不安と恐れです

このウイルスは見えません。ワクチンや薬もまだ開発されていません。ワクチンやわからないことが多いため、私たちは強い不安や恐れを感じ、ふりまわされてしまうことがあります。

それらは私たちの心の中でふくらみ、**気づく力・聴く力・自分を支える力を弱め、瞬間に人から人へ伝染していきます。**

ウイルスがもたらす

第3の“感染症”は 嫌悪・偏見・差別です

不安や恐れは人間の生き延びようとする本能を刺激します。

そして、ウイルス感染にかかわる人や対象を日常生活から遠ざけたり、差別するなど、人と人の信頼関係や社会のつながりが壊れてしまいます。

不安や恐れは人間の生き延びようとする本能を刺激します。

第3の“感染症”を ふせぐために

不安を煽ることは病気に対する偏見や差別を強めます。

「確かな情報」を拡げましょう。

・ 差別的な言動に同調しないようにしましょう。

学校農園について

7月の後半に入り、学校農園のサツマイモが野生動物により掘り起こされるという被害に遭ってしまいました。急遽、電気柵を設置し対策をとりました。日中は電源を切った状態にしておきますが、くれぐれも電気柵の電線等に触ったりしないように御家庭でもお話ししてください。



掘り起こされた跡



足跡(イノシ)



電気柵(9.0KW)